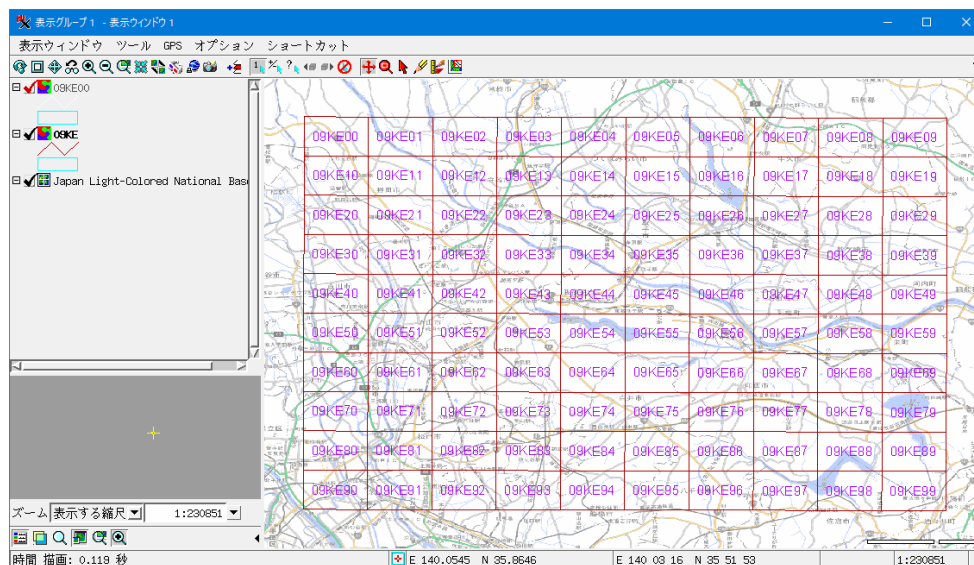
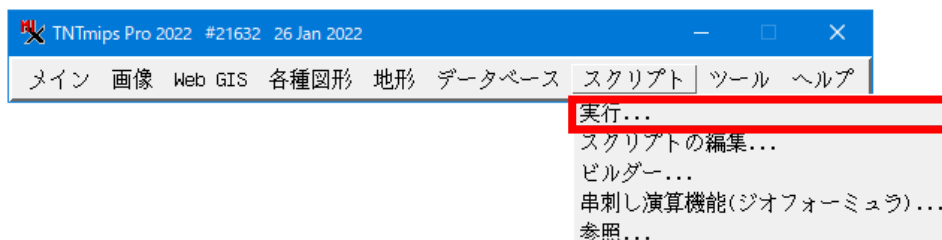


地図情報レベル 5000 のメッシュ生成 SML の実行方法

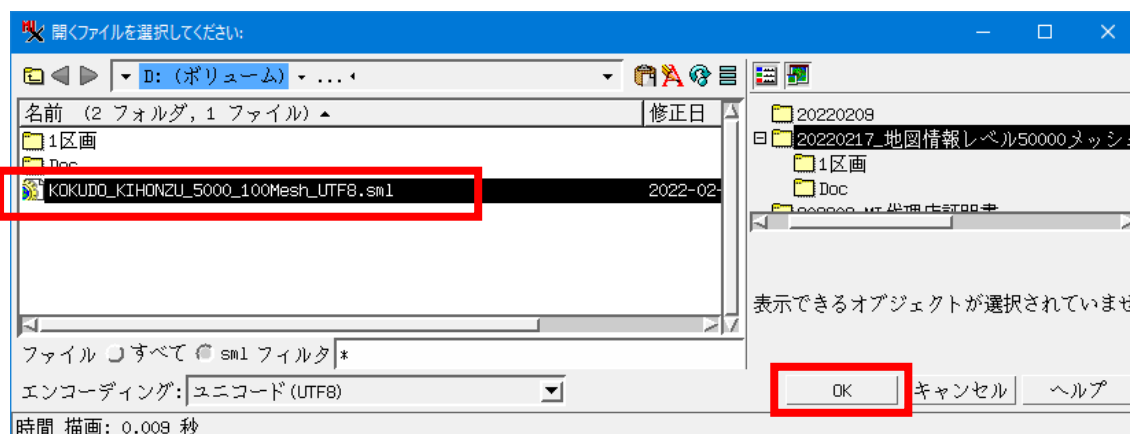
国土基本図地図情報レベル 5000 の図郭グリッドを生成します。地図情報レベル 50000 のコードを入力して、50000 区画内にレベル 5000 のメッシュを 100 個一括作成します。



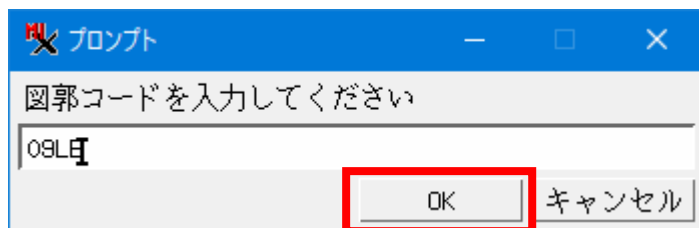
1. SML ファイル「KOKUDO_KIHONZU_5000_100Mesh_UTF8.sml」をダウンロードし適当な作業フォルダに保存します。
2. TNTmips Pro を起動します。[スクリプト]メニューの[実行]を選択します。



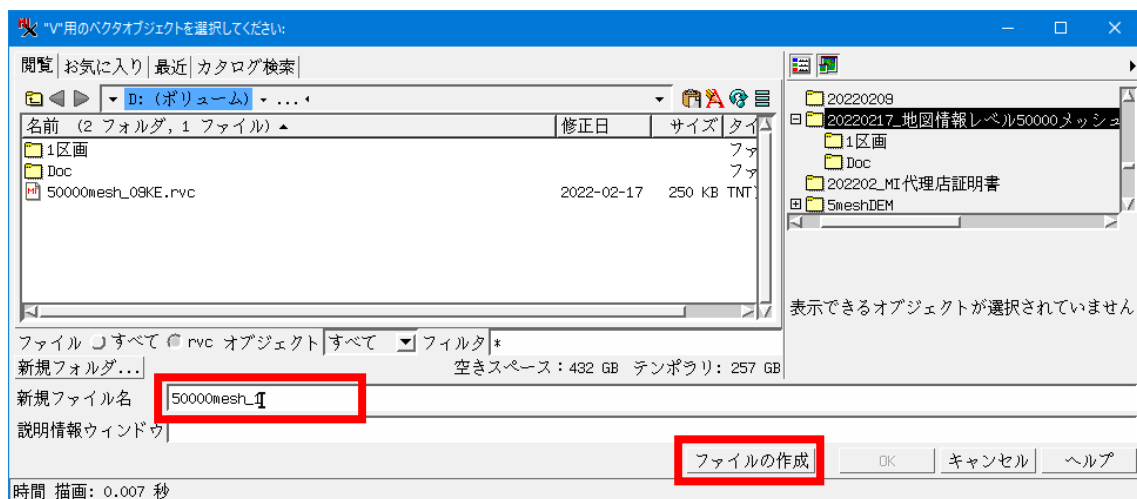
3. ダウンロードした SML ファイル「KOKUDO_KIHONZU_5000_100Mesh_UTF8.sml」を選択し、[OK]をクリックします。



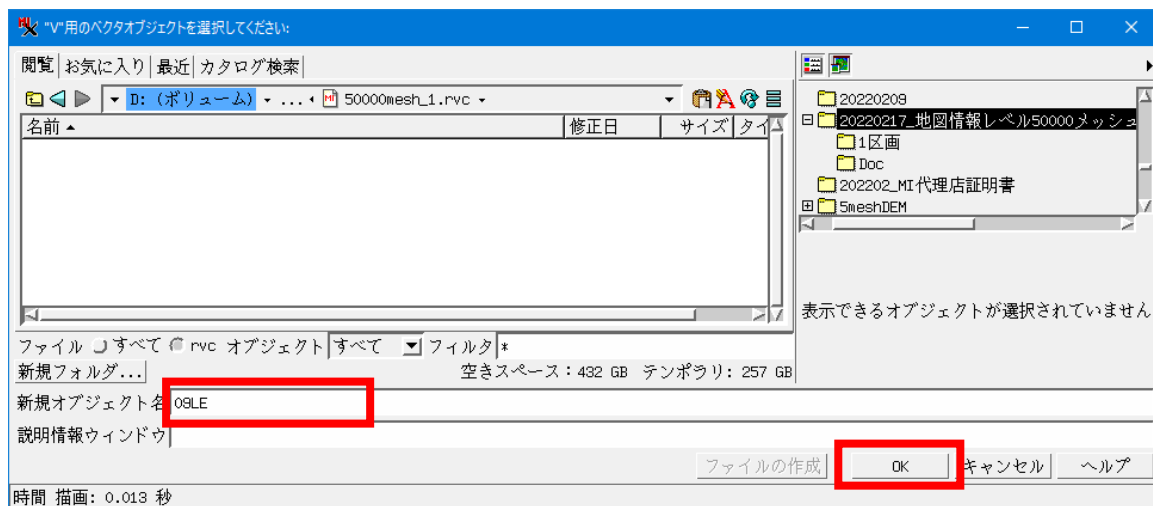
4. レベル 50000 の図郭コード(英数字 4 桁)を半角英数字で入力し[OK]をクリックします。



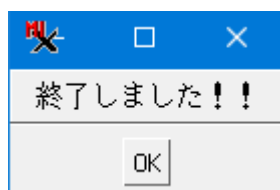
5. 保存先フォルダに移動し、新規ファイル名を入力し、[ファイルの作成]をクリックします。



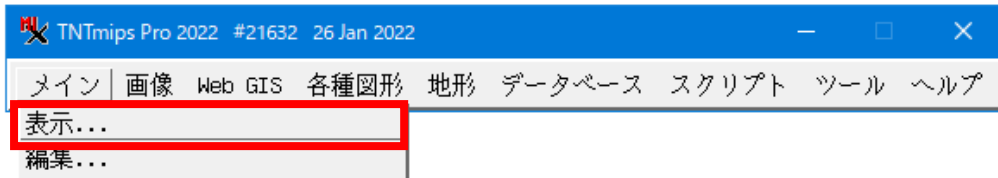
6. 新規オブジェクト名を入力し、[OK]をクリックします。



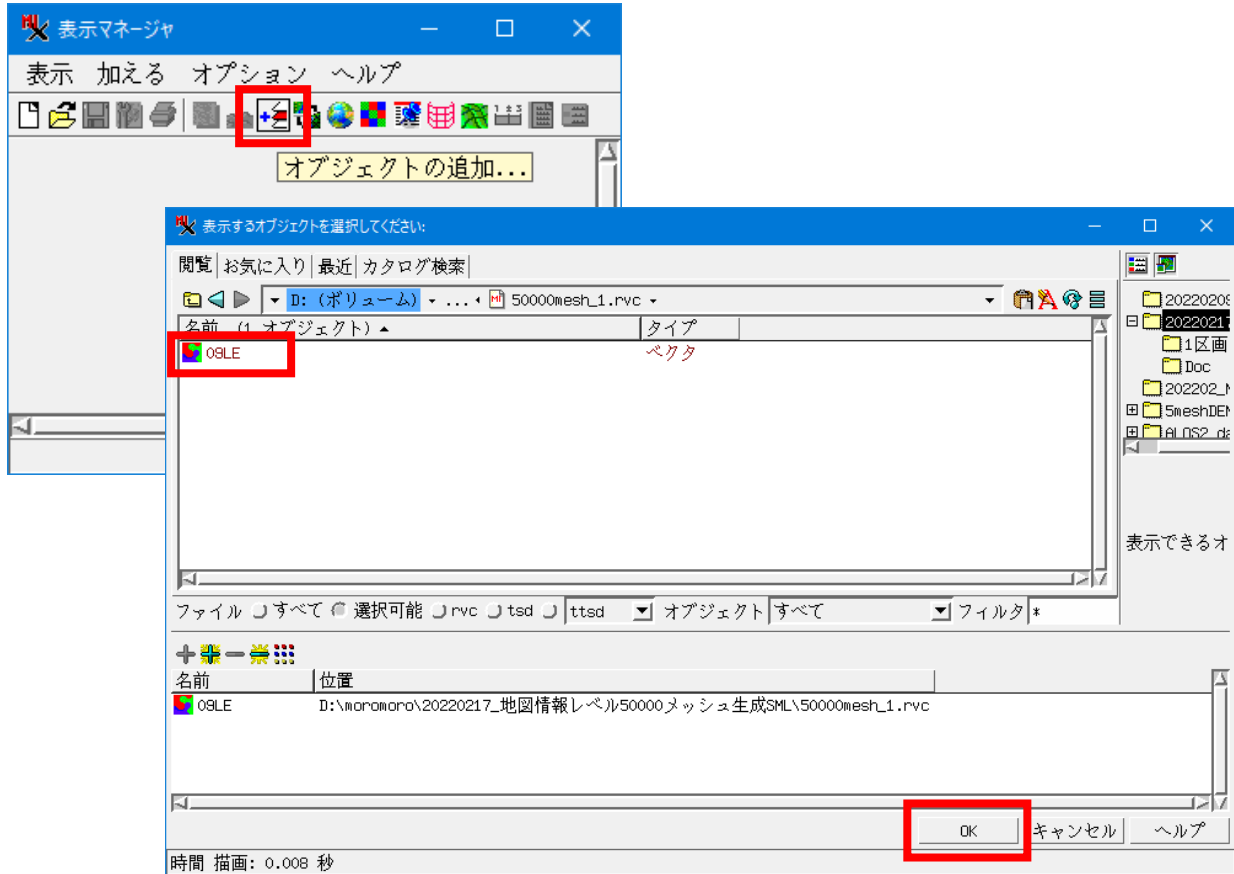
実行が開始されます。下記表示が出たら[OK]をクリックして終わります。



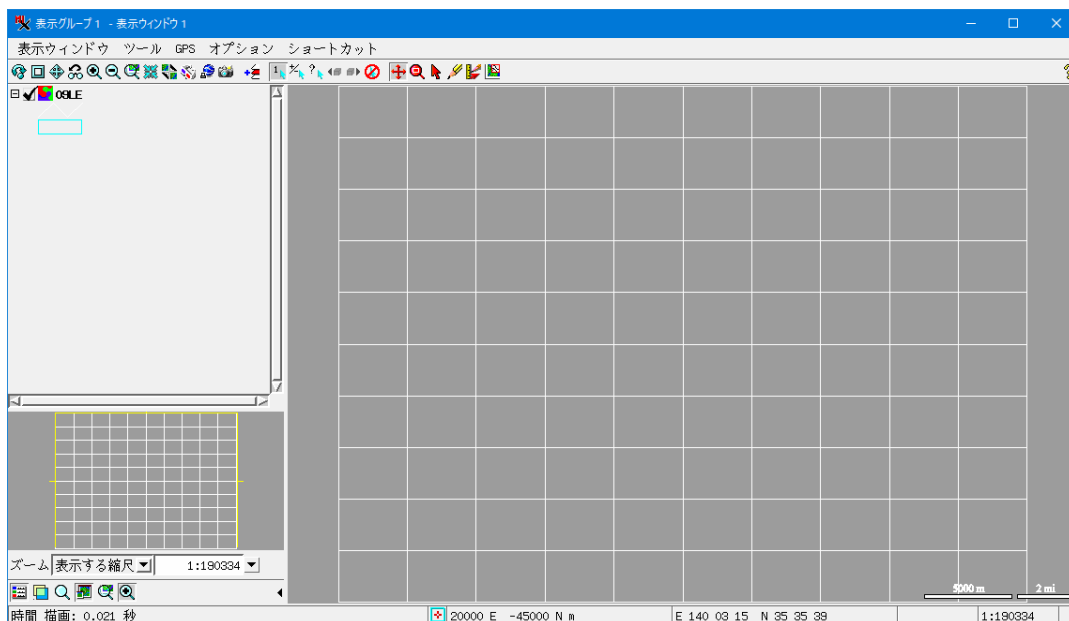
7. 保存したオブジェクトを表示してみます。[メイン]>[表示]から表示マネージャを開きます。



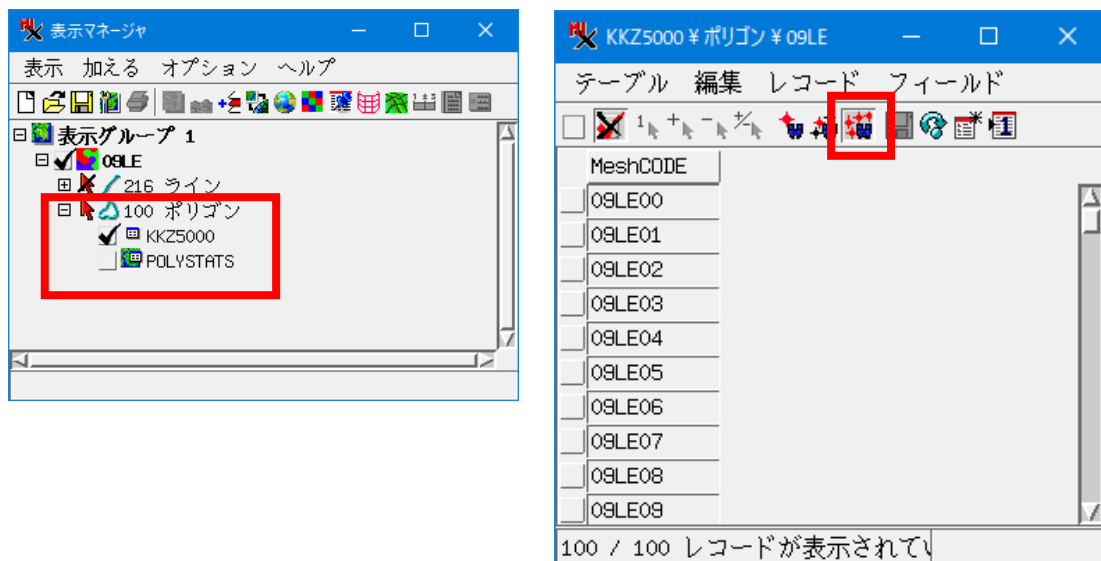
8. [オブジェクトの追加]から、保存したメッシュオブジェクトを開きます。



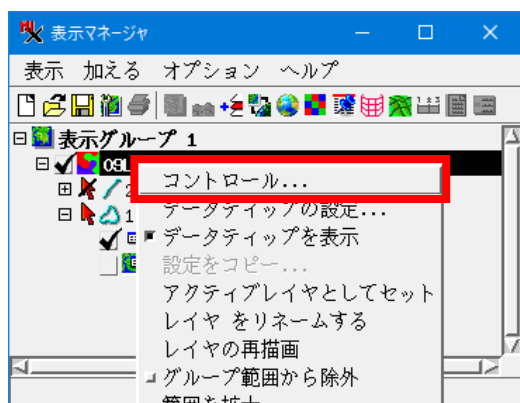
9. メッシュのベクタオブジェクトを表示したところ。



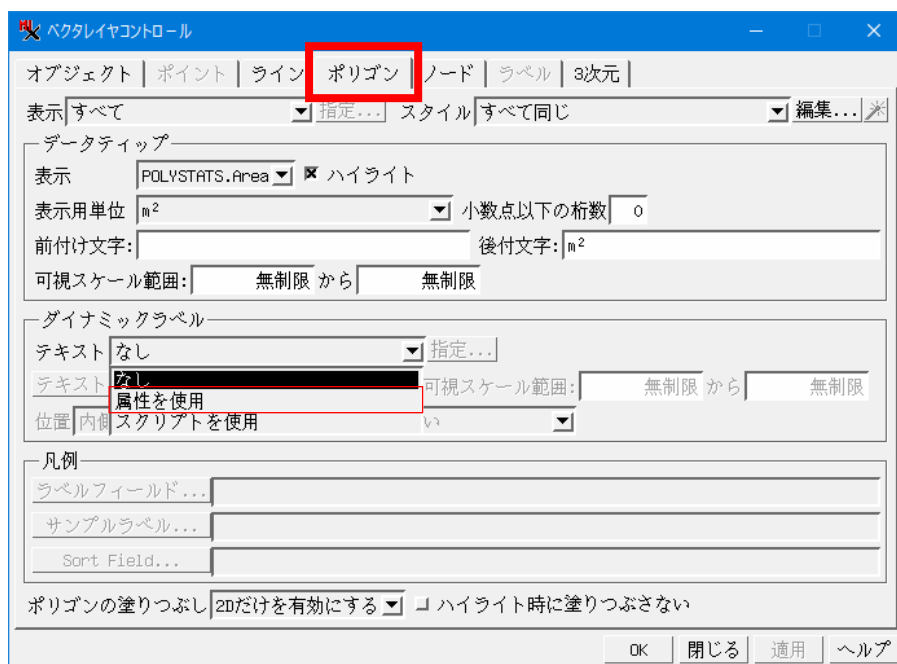
10.ポリゴンの図郭コードのテーブルを確認します。このテーブルのテキストをラベルとして図郭に表示させます。



11. 表示マネージャのメッシュオブジェクトの右クリックメニューより、[コントロール]を選択します。



12. ポリゴンタブを開き、ダイナミックラベルのテキストを「属性を使用」に変更します。



13. [指定]をクリックし、ラベル属性の選択画面で、図郭コードのテーブルとフィールドを選択し、[OK]をクリックします。

ベクタレイアウトコントロール

オブジェクト | ポイント | ライン | ポリゴン | ノード | ラベル | 3次元

表示 すべて ▼ 指定... スタイル すべて同じ ▼ 編集...

データタイプ

表示 POLYSTATS.Area ▼ ☒ ハイライト

表示用単位 m² ▼ 小数点以下の桁数 0

前付け文字: 後付け文字: m²

可視スケール範囲: 無制限 から 無制限

ダイナミックラベル

テキスト 属性を使用 ▼ 指定...

テキストスタイル... フレームのスタイル... 可視スケール範囲: 無制限 から 無制限

位置 内側に入れば表示、入らなければ表示しない ▼

凡例

ラベルフィールド...
サンプルラベル...
Sort Field...

ポリゴンの塗りつぶし 2Dだけを有効にする ▼ ☐ ハイライト時に塗りつぶさない

OK 閉じる 適用 ヘルプ

ラベル属性の選択

テーブル

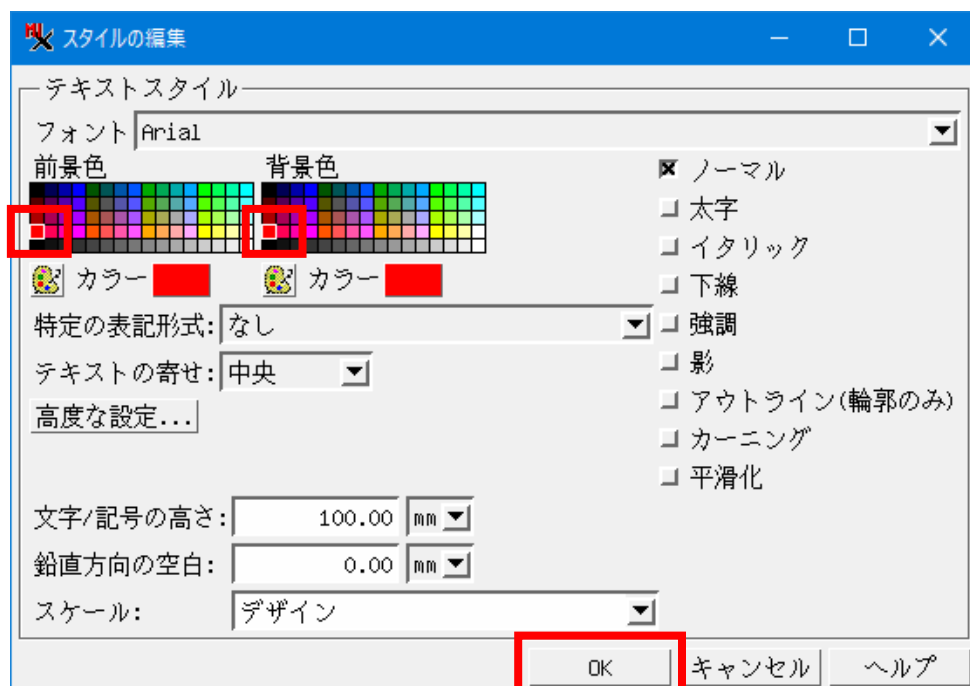
Table Name	レコード	アタッチメント	説明情報ウィ
Internal	100	Exactly 1 record / element	
KKZ5000	100	One record - Any elements	国土基本図図
POLYSTATS	100	Exactly 1 record / element	標準ベクタポ

フィールド

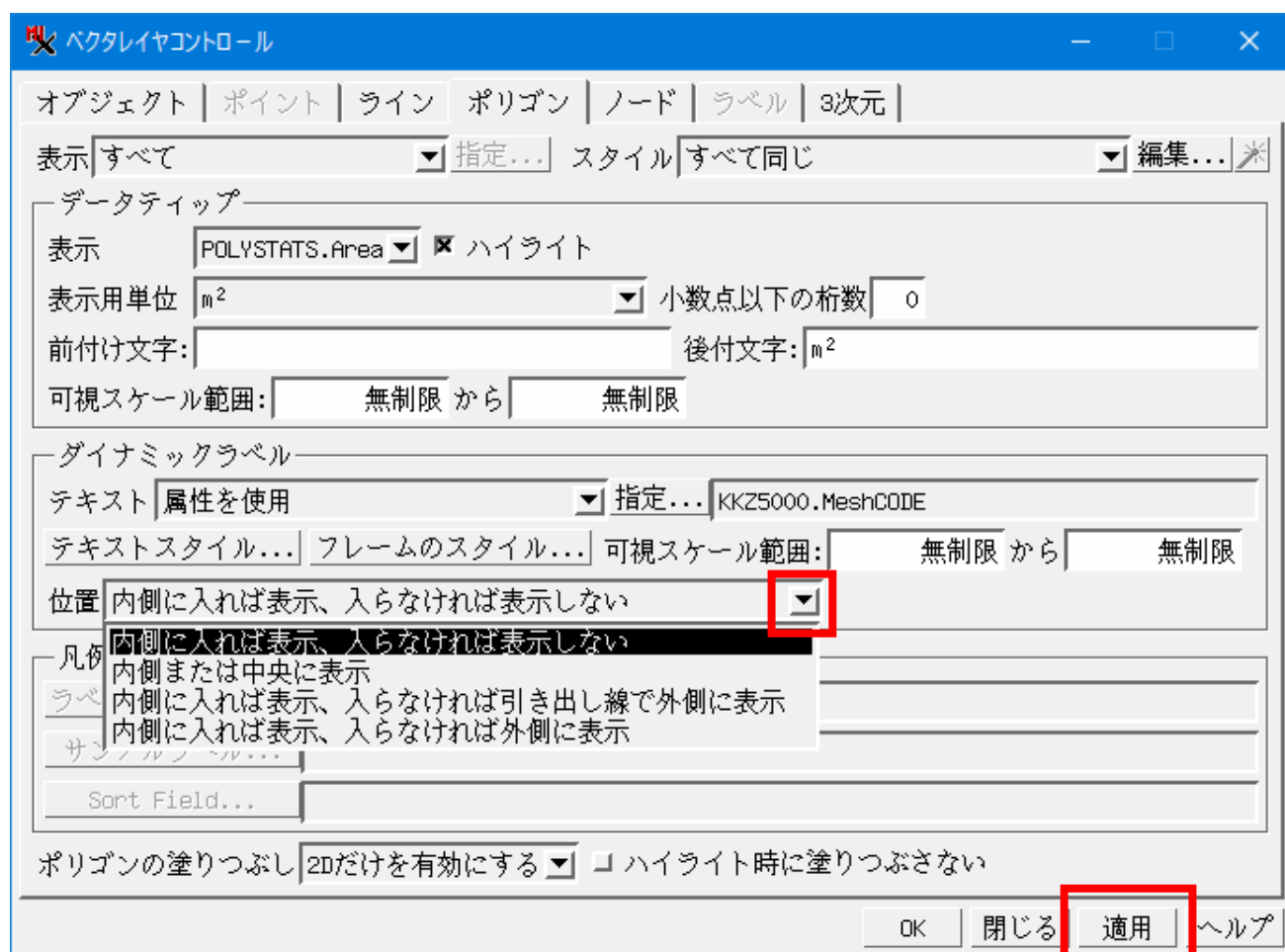
フィールド名	タイプ
MeshCODE	ユニコードテキスト

OK キャンセル ヘルプ

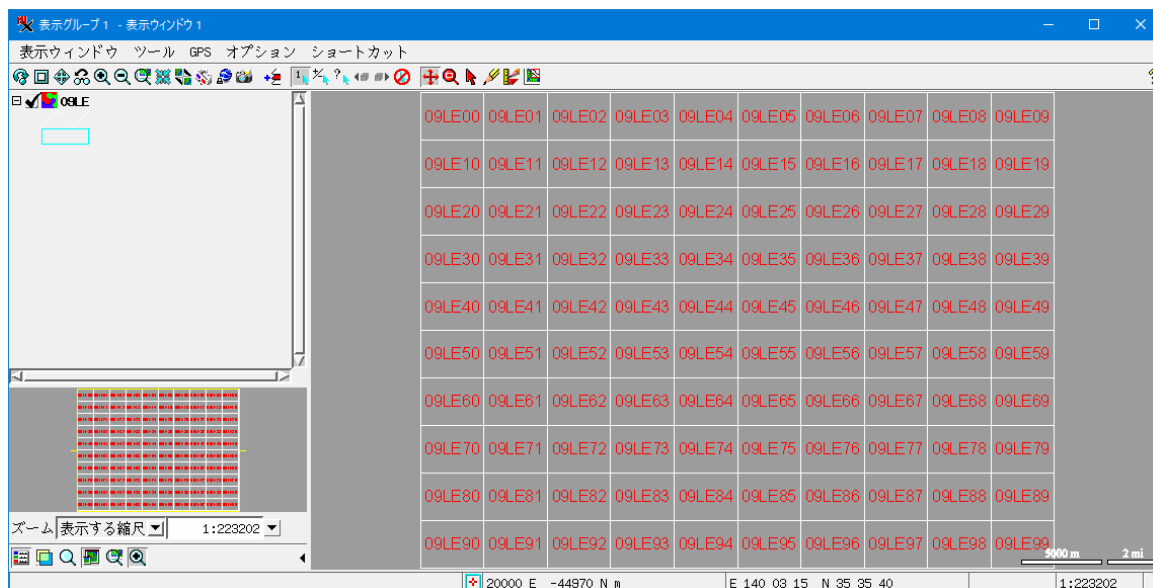
14.ポリゴンタブのダイナミックラベルの[テキストスタイル]をクリックし、スタイルの編集画面で、表示テキストのフォント、文字サイズ(高さ)や色を変更します。[OK]で戻ります。



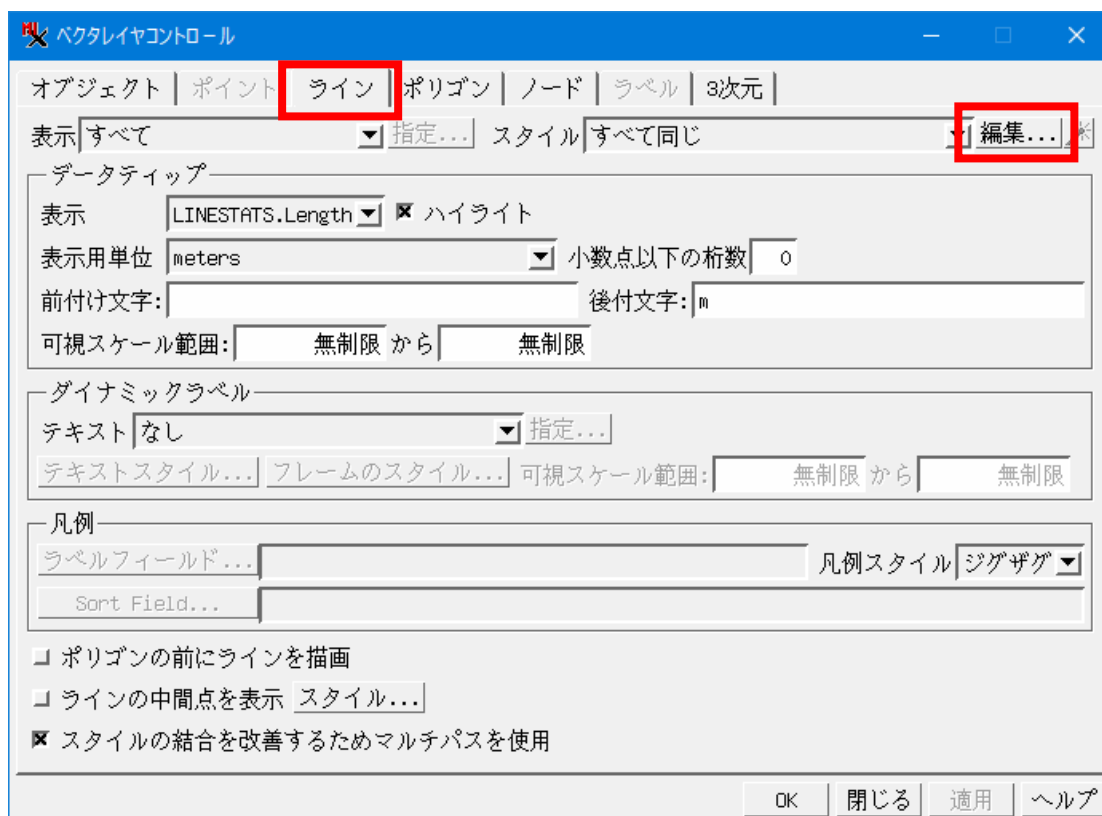
15.ダイナミックラベルの位置を指定し、[適用]をクリックします。



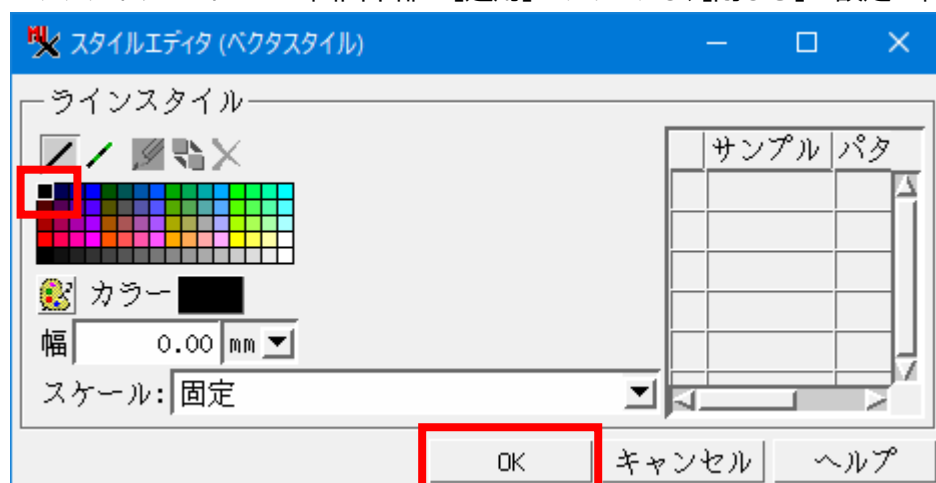
16. 図郭コードのラベルが入りました。



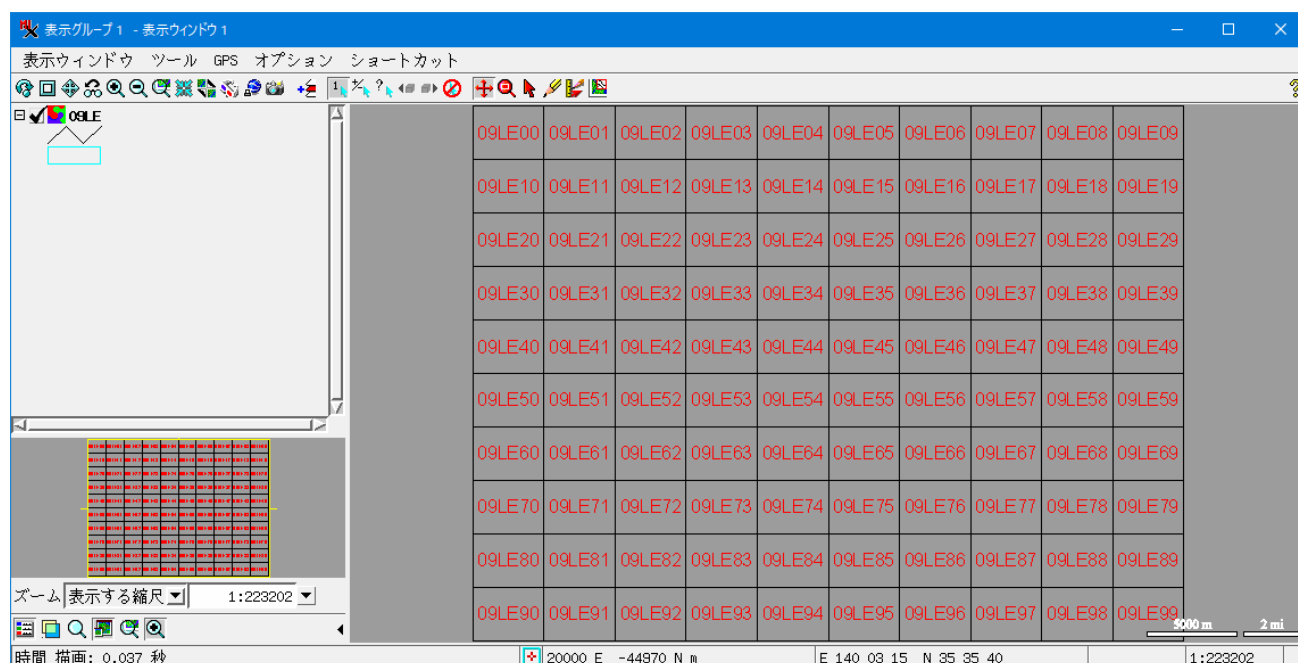
17. ラインの色を変えてみます。ベクタレイヤコントロールのラインタブを開き、「スタイル」の右の[編集]ボタンをクリックします。



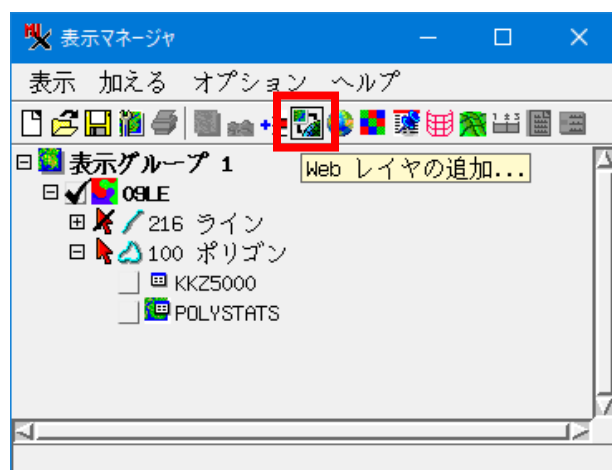
18.スタイルエディタ画面で、カラーパッチをクリックしてラインのカラーを選択します。[OK]で戻ります。
ベクタレイヤコントロール画面下部の[適用]をクリックし、[閉じる]で設定を終わります。

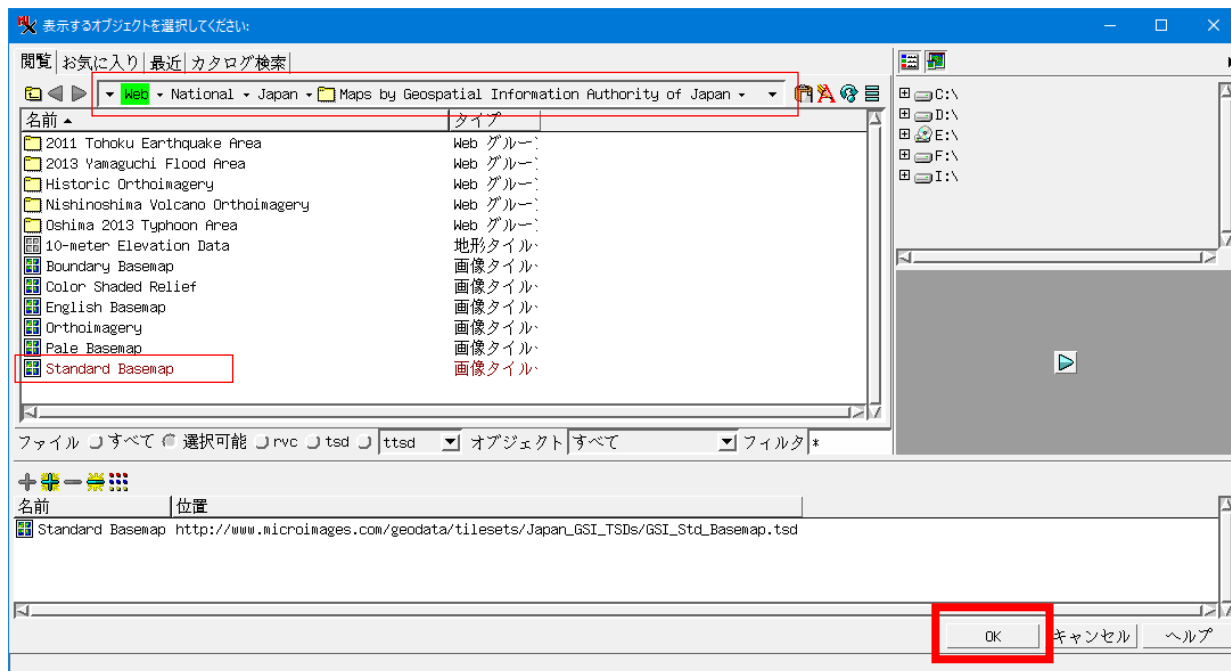


19.ラインの色が変わりました。

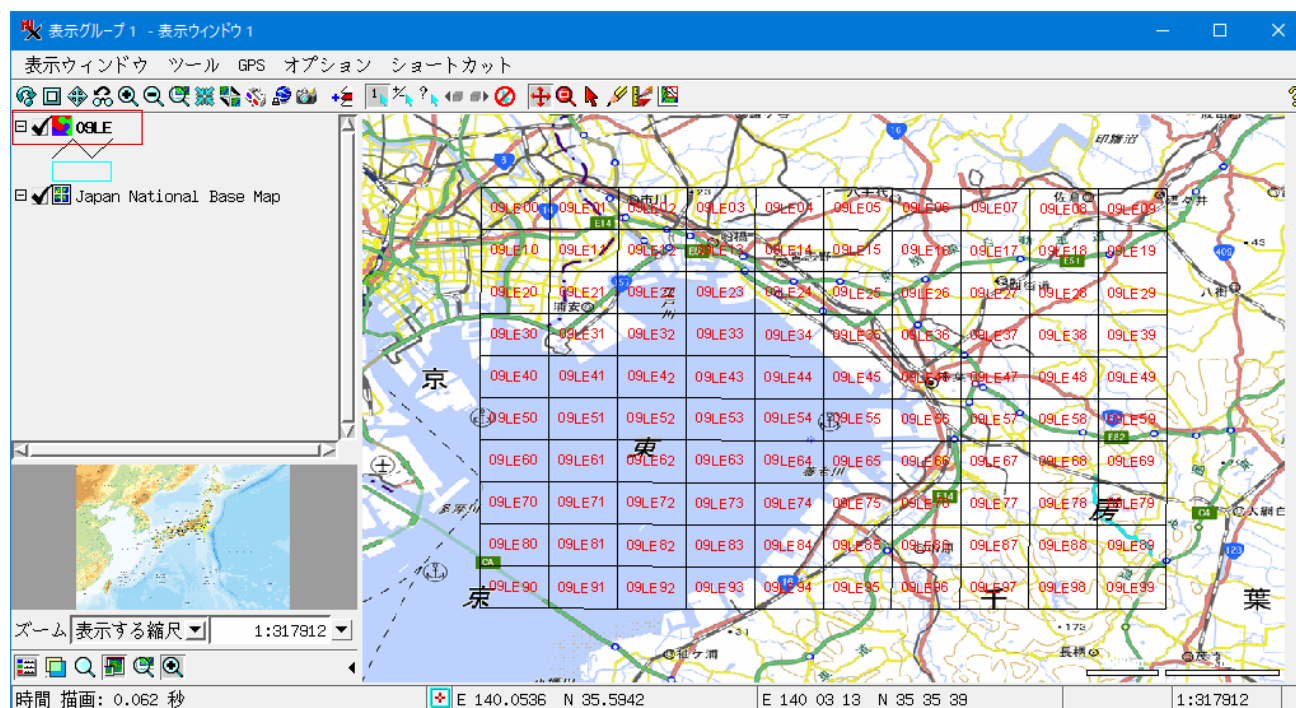


20.地理院地図を重ねてみます。表示マネージャの[Webレイヤの追加]アイコンをクリックします。
パスを変更して地理院地図を選択します。





21.レイヤの重なり順を変更して、メッシュオブジェクトを上にもってきます。



この SML スクリプトを修正して独自の処理を作ることができます。[スクリプト]メニューの[スクリプトの編集]からテキストの編集と実行ができます。

SML に関する解説は MicroImage 社サイトにある「[Writing Scripts with SML](#)」をご覧ください。

[OpenGIS](#)

2022.2.24